

令和5年度 学校自己評価

※ 評価基準 4点（よくできた） 3点（できた） 2点（あまりできなかった） 1点（できなかった）

No.	分掌	評価達成目標	成果指標・取り組み内容	年度	4	3	2	1	評価 平均	来年度に向けての改善の方策
1	総 務	アフターコロナを見据え、各行事・諸活動の再編を円滑に進める。	・関係部署や学部と連絡を取りながら、より良い方策を検討し立案する。	R4	39.3%	60.7%	0.0%	0.0%	3.4	・コロナ前の取り組みを精査し、児童生徒・教員にとってより良き内容を提案する。
				R5	32.5%	62.5%	5.0%	0.0%	3.3	
2	教 務	本年度から本格運用を開始した校務支援システムの周知とその円滑な利用を図る。	・他の分掌部と協力し、職員研修にて研鑽を重ねる。	R4	21.3%	63.9%	14.8%	0.0%	3.1	・必要に応じて研修や情報伝達を実施する。
				R5	26.8%	61.0%	9.8%	2.4%	3.1	
3	生徒指導	・マナーの向上と児童生徒の主体的活動を充実させる。 ・スクールバス降車訓練や不審者対応訓練についてのマニュアルを作成し、職員間で緊急時の対応について共通理解を図る。	・学期に1回の登下校指導を行い、生徒会行事や部活など、児童、生徒を共に活動させる。 ・年3回のスクールバス降車訓練や不審者対応訓練を行う。	R4	37.7%	57.4%	4.9%	0.0%	3.3	・自転車通学生へのマナー向上を図り、ヘルメット着用率向上を目指す。 ・生徒会役員、代議員が話し合いを通して主体的、躍動的に活動できるように今後とも支援、指導を行ってく。 ・スポーツや伝統工芸に触れる中で、それぞれの魅力や仲間と共に活動する喜びを広げていけるように今後とも支援、指導を行ってく。 ・スクールバス降車訓練、不審者対応訓練共に、引き続き、実施後の反省点を丁寧に話し合い改善を行っていく。
				R5	52.5%	47.5%	0.0%	0.0%	3.5	
4	進路指導	・卒業後の生活を見据えたキャリア教育・就労支援の更なる充実を図る。	・授業や校内・校外実習、見学会、各種検定などの取組を通じて、児童一人ひとりの生活に必要な力や働く力を育てる。	R4	37.7%	57.4%	3.3%	1.6%	3.3	・生徒の実態を把握した上で、将来を見据えて校内、校外での実習を計画し、生活に必要な力や働く意欲を育てる。 ・清掃体験や技能検定に向けた授業を充実させる。 ・施設見学会を計画し、実施する。
				R5	37.5%	55.0%	7.5%	0.0%	3.3	
5	保 健	児童生徒の健康な心と身体づくりを推進する。	・児童生徒の興味関心を引く保健だよりや掲示物づくり、全校朝会などで健康や安全に関する情報を発信する。 ・身体計測、清潔検査、日々の健康観察を行う。 ・教職員を対象に、授業に生かせる性教育研修を計画、実施し、児童生徒の発達段階に応じた性教育に取り組む。 ・医ケアルームの環境整備、充実を図る。	R4	41.0%	57.4%	1.6%	0.0%	3.4	・健康教育や性教育推進のため、教材等の充実を図る。
				R5	39.0%	58.5%	2.5%	0.0%	3.4	
6	研究・研修	・研究テーマの「分かる授業」を行うための手段として、ICT機器を児童生徒が使用する授業内容を検討し、展開する。 ・教職員の様々な分野の専門的な知識の向上を図る。 ・研修内容の共有を図る。	・ICT機器に関する研修を外部講師を招いて実施したり、有効なアプリ等の紹介等の研修を校内で行ったりする。校内での公開授業を実施・評価し、授業内容の質を高める。 ・長期休業期間を利用し、職員への計画的な研修を行う。 ・出張で得た情報を共有するよう全職員へ依頼をする。	R4	34.4%	60.7%	4.9%	0.0%	3.3	・ICT機器を使用した授業は授業は実施できたが、その中で出てきた課題を検討し、来年度のテーマ設定や授業内容を決定する。 ・出張で得た情報の共有が不十分だったので、定期的な声かけやグループウェアを活用する。 ・よりテーマに沿った夏季研修の充実を図る。 ・ICT機器に関するモラルやルールに関する研修を行う。
				R5	42.5%	50.0%	7.5%	0.0%	3.4	
7	自活支援	・校内の支援を推進する。 ・外部機関との連携を深める。	・自立活動の授業内容を充実させるため、指導略案の作成、授業アンケート(年間2回)を実施する。 ・学校園所及び関係機関との連携を充実させる。	R4	29.5%	65.6%	4.9%	0.0%	3.2	・自立活動の授業の充実を目的とし、来年度も授業指導略案を作成し、まとめる。 ・地域支援を複数の教員が担当できるように配慮する。
				R5	41.5%	56.1%	2.4%	0.0%	3.4	
8	管理情報	情報機器や備品等に関わる学校環境の整備や管理、また校内のICT活用指導力の向上を推進する。	・今年度の研究テーマであるICT機器の活用をサポートするための情報(アプリ、ツールなど)を発信する。 ・GIGAスクール構想等により整備されたICT環境や、教育用クラウドサービス、Web会議システム等を活用する。	R4	32.8%	63.9%	3.3%	0.0%	3.3	・ICT活用指導力の向上や近年導入されたシステム活用の研修をおこなう。
				R5	32.5%	52.5%	15.0%	0.0%	3.2	

No.	分掌	評価達成目標	成果指標・取り組み内容	年度	4	3	2	1	評価 平均	来年度に向けての改善の方策
9	小学部	児童の特性を理解し十分な実態把握を踏まえ、人権を大切にするとともに一人ひとりに応じた支援方法を学部学年で共通理解して教育活動を行う。	・学部会、学年会で情報共有し、個に応じた適切な関わり方について検討するとともに、必要に応じてケース会議や専門家への相談の機会を設定、活用する。 ・医療的ケア児童への理解と対応を共通理解し、日々の対応や校外学習など緊急体制を学部学年で周知する。 ・一人ひとりに応じた支援方法をクラス、学年で話し合い、どの児童も分かる授業を考え実践する。	R4	36.0%	64.0%	0.0%	0.0%	3.4	・クラスや学年、学部で児童の情報や個々に応じた関わり方の検討を継続する。ケース会議や専門家への相談の機会を設定し、実態把握や分析に努め、より適切な支援を行う。 ・医療的ケア児の実態に応じた対応や、校外学習時などの緊急体制を学年学部で共有する。さらにケース会議や研修の機会を設定し、学部全体で理解を深める。 ・クラス、授業担当者で、児童の実態や個に応じた支援方法を共有し、主体的に取り組める授業実践や評価を適宜行う。
				R5	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	3.6	
10	中学部	生徒一人ひとりの特性を理解し、学部全体で情報共有し連携した教育活動を行う。	・学部全体で目標設定や成果を共通理解する機会を増やし、生徒が主体的に取り組める授業づくりを行う。	R4	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	3.3	・学級及び学部間で生徒の共通理解を深め、生徒の様子の変化や課題については、すぐに学部全体で情報共有し、支援方法を検討し取り組む体制を継続する。 ・生徒が主体的に取り組める授業づくりを実践する。
				R5	39.2%	53.5%	7.1%	0.0%	3.3	
11	高等部	・卒業後の進路を見据え、障害の状況や多様なニーズに応じた指導・支援について、学年を超えた共通理解を図り、協働して教育活動を行う。	・卒業後の社会生活や余暇活動を視野に入れてカリキュラムを作成。情報を共有して取り組む。 ・生徒の目指す姿、状況、対応について、学年を超えて密に報告・協議を持つ。	R4	21.9%	65.6%	3.1%	9.4%	3.0	・学級や学年、学部全体で、生徒の現状や課題点、支援方法を共通理解した上で授業や学年学部活動を行う体制を継続する。 ・授業や実習などで、生徒の様子や小さな変化を担当教師からクラス担任や学年に適時情報共有を行い、適切な支援を行う。
				R5	32.0%	60.0%	8.0%	0.0%	3.2	
12	人 権	自分を大切にし、お互いの違いを認め合い、思いやりや助け合いの心を育てる人権教育を推進する。	・特別活動や学校生活全般を通して、人権に配慮した教育活動を行う。 ・人権に関する教職員向け研修を実施したり、日頃から人権に関する情報発信を行ったりし、教職員の人権に対する意識を高める。	R4	26.2%	70.5%	3.3%	0.0%	3.2	職員研修だけでなく、日頃から様々な人権問題に対して、身近に起こりえることであるという意識をもって取り組む必要がある。人権に関する内容は変化し、多様であるため、引き続き人権に関する情報発信を豊富に行っていく。
				R5	33.3%	59.0%	7.7%	0.0%	3.3	
13	交 流	学校、地域間交流を通して、関わりを持ち、互いに理解を深め合う。	・交流相手との打ち合わせを密にし、実施時期や方法、内容を工夫して交流を実施する。 ・事前学習を通して、児童生徒に見通しを持たせる。	R4	32.8%	60.7%	6.6%	0.0%	3.3	・交流相手との打ち合わせを綿密に行い、児童生徒の実態に応じた内容等を工夫して交流を行う。
				R5	46.3%	51.2%	2.5%	0.0%	3.4	
14	コロナ対応	インフルエンザ等の感染症を含め、感染防止対策を徹底する。 また、コロナの5類感染症移行後の対応の変化を周知する。	・丁寧な健康観察、手洗いの励行を徹底する。 ・3密を避ける指導方法や換気など、学校全体の対策を徹底する。 ・出席停止の場合、感染した場合の出席停止の解除(証明書の提出)、職員が感染した場合の対応。濃厚接触者についての対応変化など。	R4	36.1%	62.3%	1.6%	0.0%	3.3	感染防止対策は、一般習慣として定着を図る。 出席停止などの対応は、変更があったときに、周知を丁寧に行う。
				R5	40.5%	57.1%	2.4%	0.0%	3.4	